

いま、被災地から



陸前高田市立博物館 美術作品の搬出 2011年7月14日撮影

—岩手・宮城・福島の美術と震災復興—



高橋英吉《潮音》 石巻文化センター蔵



萬鐵五郎《赤い目の自画像》
岩手県立美術館蔵



関根正二《姉弟》 福島県立美術館蔵

2016年5月17日(火)～6月26日(日)

会場 ■ 東京藝術大学大学美術館 [東京・上野公園]

開館時間 ■ 午前10時～午後5時 (入館は閉館の30分前まで)

休館日 ■ 月曜日

主催 東京藝術大学、全国美術館会議、岩手県立美術館、宮城県美術館、福島県立美術館

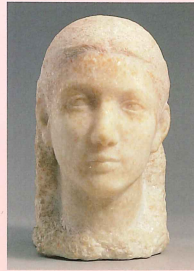
共催 NHK、朝日新聞社、東京新聞、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

後援 文化庁

協力 印象社、ヤマトロジスティクス

第一部 東北の美術—岩手・宮城・福島

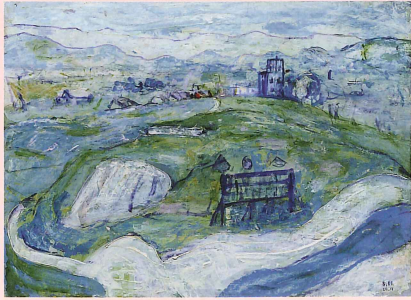
岩手県、宮城県、福島県が生んだ近現代の美術作家たちの優品をご紹介します。各県立美術館の常設展示室を飾っている作品が一堂に会することで、それぞれの個性が際立つと同時に、全体を貫く伝統を感じていただけるでしょう。東北地方の作家たちの作品によって、東北美術の特質と魅力、そこに込められた精神性を浮かび上がらせます。



舟越保武《少女像》
岩手県立美術館蔵



佐藤忠良《帽子・夏》
宮城県美術館蔵



松本竣介《盛岡風景》 岩手県立美術館蔵



酒井三良《雪に埋もれつつ正月はゆく》
福島県立美術館蔵

第二部 大震災による被災と文化財レスキュー、そして復興

全国美術館会議は大震災直後から被災した作品・資料の救出保護に取り組み、半年後の2011年秋には多くの作家たちの協力を仰いでチャリティー・オークションを開いて、その収益や全国から寄せられた義援金をもとに文化財の修復などを行ってきました。それら一連の事業の記録と成果を写真パネル、修復作品などで紹介し、地域社会に貢献する美術館活動の意義などを探ります。今後の復興への課題について理解を深める機会ともなるでしょう。



浪江町棚塩集会所 2013年6月25日撮影



石巻文化センター 美術作品の汚れ落としと梱包
2011年4月27日撮影



富岡町文化交流センター 2013年5月28日撮影

いま、被災地から

—岩手・宮城・福島のアートと震災復興—

2011年の東日本大震災では陸前高田市立博物館、石巻文化センターなど多数のミュージアム施設が被災して、貴重な文化財をはじめとして多くの文化資源、美術資料が損傷しました。しかしその直後から支援の手が全国から差し伸べられ、資金援助や寄附などもあり、復興活動が始まりました。

美術資料に関しては全国美術館会議がいちはやく東日本大震災復興対策委員会を立ち上げて、岩手県、宮城県、福島県の県立美術館などと連携しながら作品の救出、修復、復元などの事業を計画的、継続的に実施してきました。

2016年を迎えてもその作業は終わりませんが、それらの経過を報告する企画展が東京の東北地方への玄関口ともいえる上野で開催されます。被災状況、救出活動などを臨場感あふれる写真で紹介し、修復された作品の一部を展示するとともに、この機会に東北地方ゆかりの近現代作家の秀逸な作品を一堂に展示いたします。文化財保護を考える一方で東北地方の豊かな美術文化の土壌を体感できる貴重な機会となります。

観覧料 一般800円(600円)
高校・大学生500円(400円)
中学生以下は無料
※()内は20名以上の団体料金
※団体観覧者20名につき1名の引率者は無料
※障がい者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料



アクセス

JR上野駅公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分
JR上野駅公園口から台東区循環バス「東西めぐりん(東京芸術大学経由)」で4分、停留所「東京芸術大学」下車(30分間隔)
駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

東京藝術大学大学美術館
The University Art Museum, Tokyo University of the Arts

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

お問い合わせ先: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

ホームページ: <http://www.geidai.ac.jp/museum/>